

外来種番付説明資料

| | |
|---------------|---|
| アライグマ | 特定外来生物。北米原産。始良・霧島・高隈で2015年に初めて見つかった。数が増えてしまうと、農作物を荒らす、県内にもともといる生物を食べたり追いやったりする、建物に入って荒らす、人に感染する病気を運ぶ、などの問題を起こす。 |
| ノネコ | 県内で広く見つかっている。ペットが捨てられたりして増えた。特に奄美大島・徳之島では、アマミノクロウサギなど貴重な動物を食べて、絶滅の危険を大きくしている。 |
| ニホンイタチ (コイタチ) | 日本本土原産。トカラ列島、喜界島、沖永良部島、与論島に、ネズミ対策のため入れられた。もともといる小動物を食べ、生態系に大きな影響を与える。特に悪石島、平島、与論島では、絶滅した爬虫類もいる。 |
| オオクチバス | 特定外来生物。北米原産。県本土各地にいる。バス釣りのために入れられた。魚をはじめ、県内にもともといる水生生物を大量に食べてしまう。 |
| ゴケグモ類 | 特定外来生物。オーストラリア原産。県本土でセアカゴケグモとハイロゴケグモ、奄美大島・徳之島でハイロゴケグモが見つかっている。船で運ぶ荷物などと一緒に入ってくる。毒を持ち、人が咬まれると、死ぬほどではないが苦しむことになる。 |
| ホテイアオイ | 南米原産。県本土、島嶼とも生育している。観賞用の水草、家畜の餌用として入れられた。水面を全部埋め尽くすほどに増え、水の中の生き物全体に大きな影響を与える。 |
| フイリマングース | 特定外来生物。東南アジア原産。現在は奄美大島にいる。ハブを退治するために入れられた。しかしハブはほとんど食べず、アマミノクロウサギなど貴重な動物を食べて、絶滅の危険を大きくしている。 |
| ノヤギ | 西アジア原産。トカラ列島、奄美大島等にいる。家畜を放したり、逃げ出したりした。色々な植物を大量に食べ、貴重な植物も含めて減らしてしまう。 |
| コイ | ユーラシア原産。県内各地に生息する。食用・観賞用として放流された。雑食性で、特に貝類など、水の底にいる生物を食べ、生態系に大きな影響を与える。 |
| ミシシッピアカミミガメ | 北米原産。県本土・種子島・奄美諸島に生息する。ペットが捨てられたり、逃げたりして増える。魚、カエル、水草などを食べて生態系に影響を与える。また、もともといたカメ類を追いやってしまう。 |
| ブルーギル | 特定外来生物。北米原産。県本土各地に生息する。釣り用、食用として入れられた。県内にもともといる水生生物を食べたり、追いやったりする。 |
| スクミリンゴガイ | 南米原産。県本土各地にいる。食用として入ってきたが、それが捨てられて増えた。田んぼで増え、稲を食べてしまう。また、広東住血吸虫という寄生虫を人間にうつすこともある。 |
| モウソウチク | 中国大陸原産。県本土各地に生えている。食用、細工物用に入れられた。利用されなくなった竹林が広がり、もともとの植物を追いやってしまう。 |
| オオフサモ | 特定外来生物。南米原産。観賞用や、水辺の緑化用に入れられた。水中で増えて、水が流れなくなったり、県内にもともといる水草を追いやってしまう。 |
| インドクジャク | 南アジア原産。観光用として、硫黄島・諏訪之瀬島に入れられた。トカゲ類や昆虫類など、地上の小動物を大量に食べてしまう。 |
| アフリカマイマイ | 東アフリカ原産。奄美諸島に生息する。食用として入れられたが、捨てられた。畑の野菜を食い荒らし、広東住血吸虫という寄生虫を人間にうつすこともある。 |
| センダングサ類 | 熱帯アメリカ原産。県本土、島嶼の各地に生育する。繁殖力が強い雑草で、どんどん増える。 |
| アメリカハマグルマ | 中米原産。島嶼に生育する。繁殖力が強く、地表面を覆いつくし、島にもともといる植物を追いやってしまう。 |
| アブラギリ | 中国大陸原産。油を取るために入れられた。県本土、屋久島で増えており、島にもともといる植物を追いやっている。 |
| カダヤシ | 特定外来生物。北米原産。県本土から与論島までに生息する。蚊の幼虫、ボウフラ退治のため入れられた。繁殖力が強く、県内にもともといるミナミメダカを追いやったり、水生昆虫などを食べてしまう。 |

| | |
|------------------|--|
| アメリカザリガニ | 北米原産。県本土各地、奄美大島に生息する。雑食性で、水の中の動物、植物を多く食べてしまう。 |
| ボタンウキクサ | 特定外来生物。南アフリカ原産。県本土、島嶼とも見つかっている。観賞用に入れられた。水面を全部埋め尽くすほどに増え、そうなると水の中の生き物全体に大きな影響を与える。 |
| オオキンケイギク | 特定外来生物。北米原産。県本土、島嶼とも見つかっている。観賞用、緑化用に入れられた。繁殖力が強く、県内にもともといる植物を追いやってしまう。 |
| ノイヌ | 県内各地に生息する。ペットが捨てられたりして増える。特に奄美大島・徳之島では、アマミノクロウサギなど貴重な動物を食べて、絶滅の危険を大きくしている。 |
| ニューギニアヤリガタリクウズムシ | 特定外来生物。ニューギニア原産。奄美大島で2015年に初めて見つけた。土に混じって入ってくる。もともといるカタツムリを食べ、数を減らしてしまう。他の多くの島で、貴重なカタツムリを絶滅に追いやった。 |
| モクマオウ類 | 島嶼に生育する。トクサバモクマオウをはじめ、複数種が混じっているようである。海岸部で、海浜植物を追いやっている。 |
| アカギ | 島嶼に生育する。自然の林に入り込み、島にもともといる植物を追いやっている。 |
| ヤンバルトサカヤスデ | 台湾原産。鹿児島市、屋久島、奄美諸島にいる。農作物を荒らしたりはしないが、大発生して人間を不快な気分にする。集めて焼くとガスが出て、吸うと気分が悪くなったりする。 |
| グッピー | 中米原産。本土では指宿市・天降川など、島嶼では喜界島、沖永良部島で見つかっている。ペットが捨てられたりして増える。繁殖力が強く、県内にもともといるミナミメダカを追いやったり、水生昆虫などを食べてしまう。 |
| オオオナモミ | 北米原産。県本土、島嶼の各地に生育する。河原などで、県内にもともといる植物を追いやっている。 |
| シナダレスズメガヤ | 南アフリカ原産。県本土各地に生育する。緑化用に入れられた。河原などで、県内にもともといる植物を追いやっている。 |
| メリケンムグラ | 北米原産。県本土に生育する。湿地や水辺で、県内にもともといる植物を追いやっている。 |
| ウスゲオオバナミズキンバイ | 中南米原産。大隅半島で増えている。繁殖力が強く、川や池で、県内にもともといる植物を追いやってしまう。 |
| セイタカアワダチソウ | 北米原産。県本土各地に生えている。観賞用に入れられた。河原や空き地などで、県内にもともといる植物を追いやっている。 |
| メリケントキンソウ | 南米原産。県本土に生育する。公園などに生え、トゲで怪我をすることがある。 |
| ホンダタヌキ | 日本本土原産。屋久島では外来種である。雑食性で色々な動物、植物を食べ、特に海岸でウミガメの卵を掘って食べてしまう。 |
| キジ | 日本本土原産。トカラ列島、奄美群島に入れられている。狩猟用に放された。畑の農作物を荒らしている。 |
| ニホンスッポン | 日本本土、中国大陸原産。奄美大島、屋久島では外来種である。養殖場から逃げたり、捨てられたりした。魚や他の動物を食べてしまう。また、本土にいるもともとのもとのニホンスッポンと、中国のものが交雑してしまう危険がある。 |
| オキナワキノボリトカゲ | 奄美諸島、沖縄諸島原産。指宿、屋久島では外来種である。観葉植物などに紛れたり、ペットが捨てられたりして入ってきた。昆虫類を食べ、生態系や食物連鎖を乱してしまう。 |
| ソードテール | 中米原産。奄美大島で見つかっている。ペットが捨てられたりして増えた。繁殖力が強く、水生昆虫などを食べてしまう。 |
| ウシガエル | 特定外来生物。北米原産。県本土・与路島・徳之島に生息する。食用として養殖されていたものが、捨てられたり、逃げたりした。昆虫、カエルなど、県内にもともといる動物を大量に食べ、生態系に大きな影響を与える。 |
| タカサゴユリ | 台湾原産。県本土、島嶼に生育する。観賞用に入れられた。県内にもともといるユリと交雑したり、追いやったりする。 |
| ギンネム | アメリカ大陸・太平洋諸島原産。島嶼に生育する。びっしり生えた林を作り、島にもともといる植物を追いやっている。 |

斜体は本土と島嶼の両方にまたがって分布しているもの